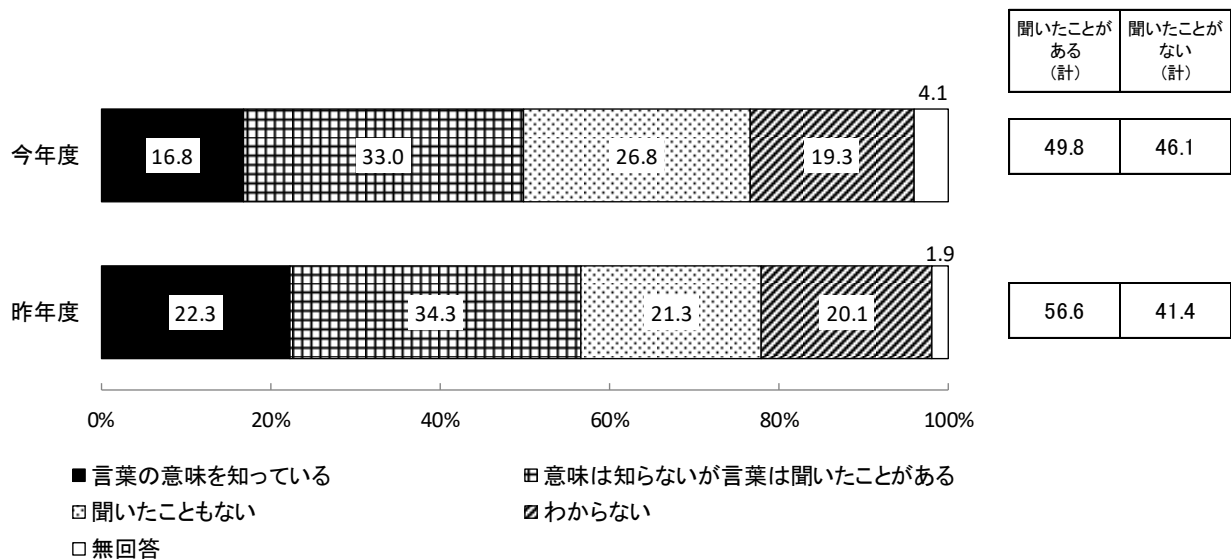


12. 生物多様性について

「生物多様性」とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。この生物多様性は、私たちの豊かな暮らしに欠かせない多くの自然の恵みをもたらしてくれます。

12-1. 「生物多様性」の認知状況

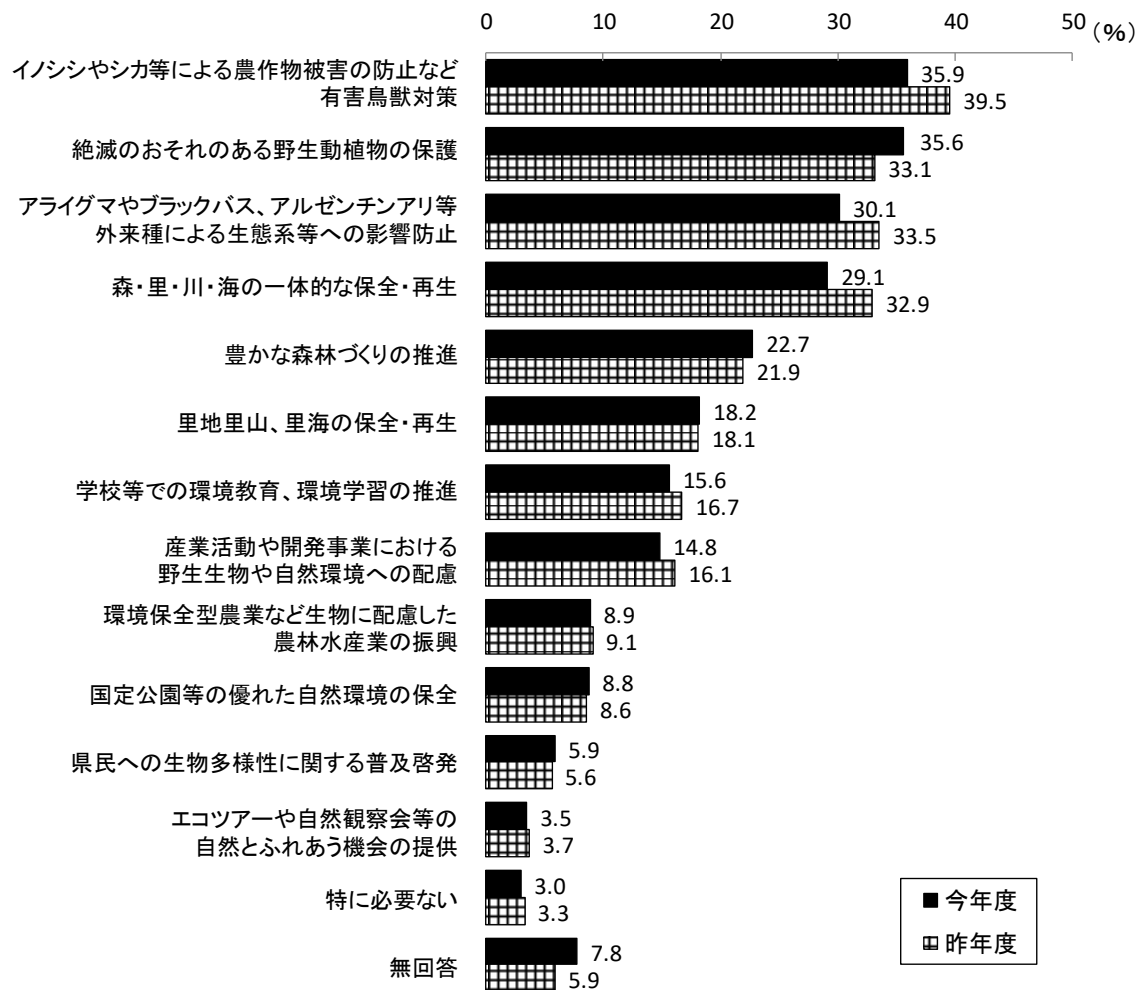
Q 12-1 あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。(〇は1つ)



「生物多様性」の認知状況について、「言葉の意味を知っている」が16.8%、「意味は知らないが言葉は聞いたことがある」が33.0%となっており、2項目を合わせた『聞いたことがある (計)』は49.8%となっている。また、「聞いたこともない」が26.8%、「わからない」が19.3%となっており、2項目を合わせた『聞いたことがない (計)』は46.1%となっている。昨年度と比較すると、『聞いたことがある (計)』は6.8ポイント低下し、『聞いたことがない (計)』は4.7ポイント上昇している。

12-2. 生物多様性を守るために必要な取組

Q12-2 生物多様性を守っていくために、どのような取組が必要だと思いますか。
(〇は3つまで)



生物多様性を守るために必要な取組について、「イノシシやシカ等による農作物被害の防止など有害鳥獣対策」が35.9%と最も高く、次いで「絶滅のおそれのある野生動植物の保護」が35.6%、「アライグマやブラックバス、アルゼンチンアリ等外来種による生態系等への影響防止」が30.1%、「森・里・川・海の一体的な保全・再生」が29.1%、「豊かな森林づくりの推進」が22.7%の順となっている。昨年度と比較すると、「絶滅のおそれのある野生動植物の保護」が2.5ポイント上昇し、「森・里・川・海の一体的な保全・再生」が3.8ポイント、「イノシシやシカ等による農作物被害の防止など有害鳥獣対策」が3.6ポイントそれぞれ低下している。